



9月の敬老の日になみ、市内最高齢者や白寿(9月1日時点で99歳)を迎えた高齢者と長寿のお祝いをしました。祝い状と祝い品を受けられたのは、次の方々です。



<市内最高齢者(109歳)>
安藤かほみさん(椿世町)

<白寿(99歳)>

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 明石きん子さん(白木町) | 國分清周さん(井田川町) | 松井久子さん(布気町) |
| 大地つゆさん(川崎町) | 小坂はな子さん(関町新所) | 三谷桑郎さん(白木町) |
| 岡本正義さん(南野町) | 塩崎恵子さん(栄町) | 森ゆき子さん(田茂町) |
| 片岡行夫さん(木下町) | 中原橋一さん(両尾町) | 渡邊かずさん(和田町) |
| 黒宮たまよさん(関町木崎) | 匹田ほづ子さん(天神三丁目) | 渡邊飛々さん(和田町) |
| 栗原きみさん(みどり町) | | |

※氏名掲載についてご了解いただいた方のみ掲載しています。



亀山市名誉市民

彫刻家 中村 晋也

作品紹介「ふるさとあい」Vol.28

としよし 川路利良大警視 平成11(1999)年建立

「こゑ聲無キニ聞キ 形無キニ見ル」、昔の刑事ドラマに必ず登場していた警察手帳には、この言葉が記されていて、日本の警察官はみな誇りにしていたと言います。台座正面に彫られたこの言葉は、日本の近代警察の創設に半生を捧げた川路利良(1834～1879)が、「警察官は国民の母たるべし」というフランス留学で学んだ警察官の心構えを「警察主眼」として説いた言葉です。西郷隆盛に見いだされ、後に大久保利通の下で手腕を発揮した川路は、明治10年の西南の役では、さまざまな誤解を受け辛い立場に立たされました。この像の建立によって、やっと薩摩での復権を果たしたと言えるかもしれません。



227.5cm(高さ)×97cm(幅)×73cm(奥行き)
(鹿児島市鹿児島県警察本部前)

特別協力 公益財団法人中村晋也美術館 (URL <http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html>)